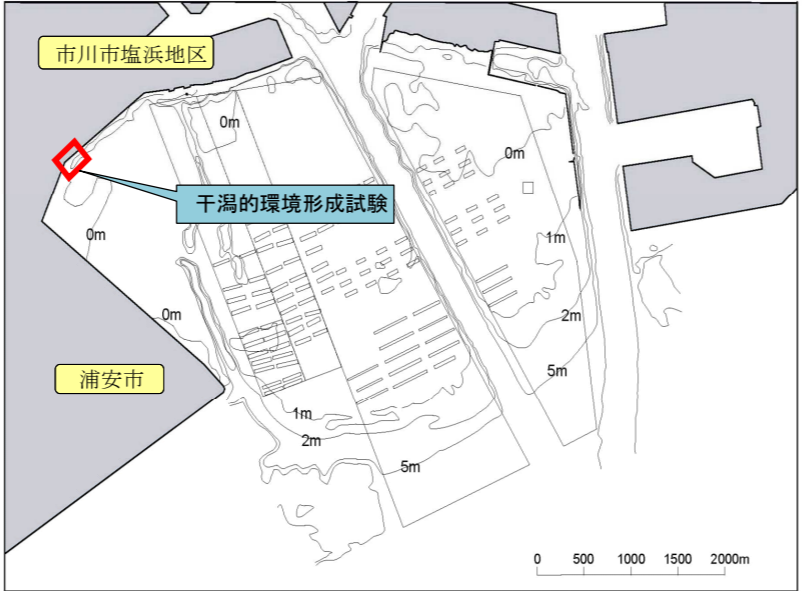
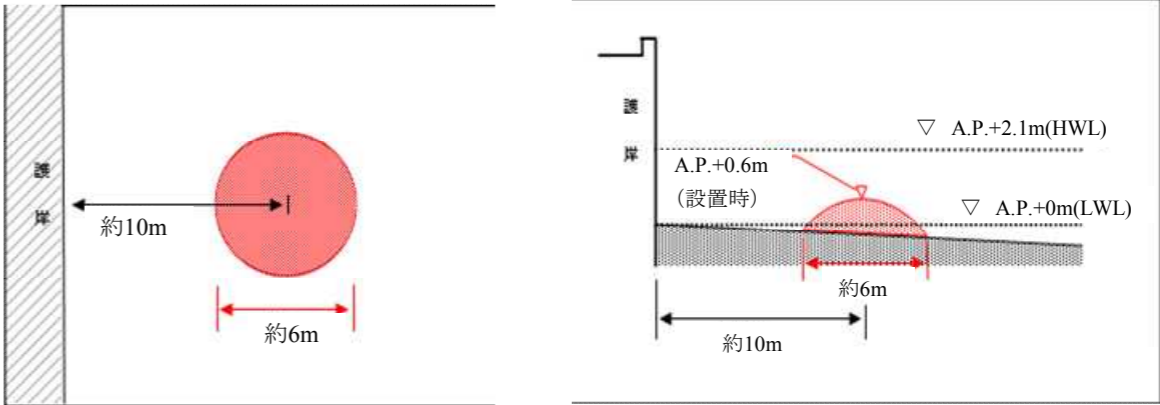
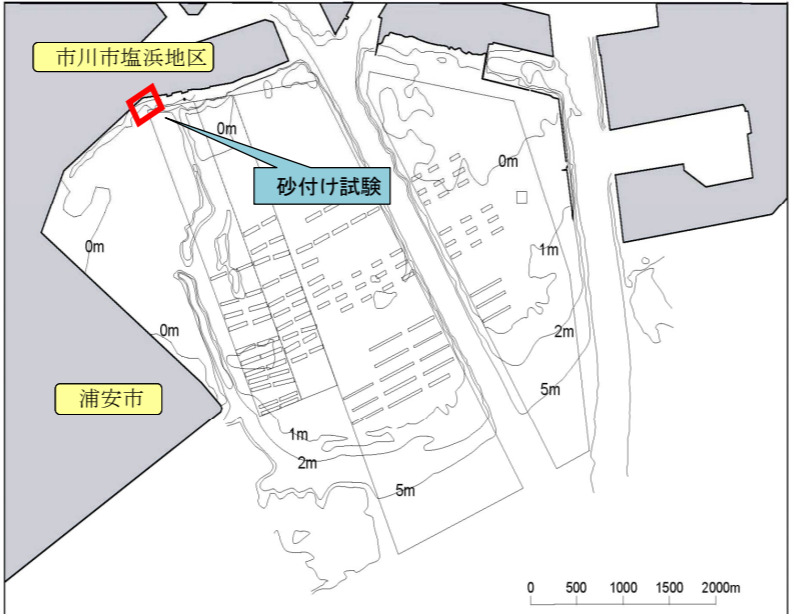
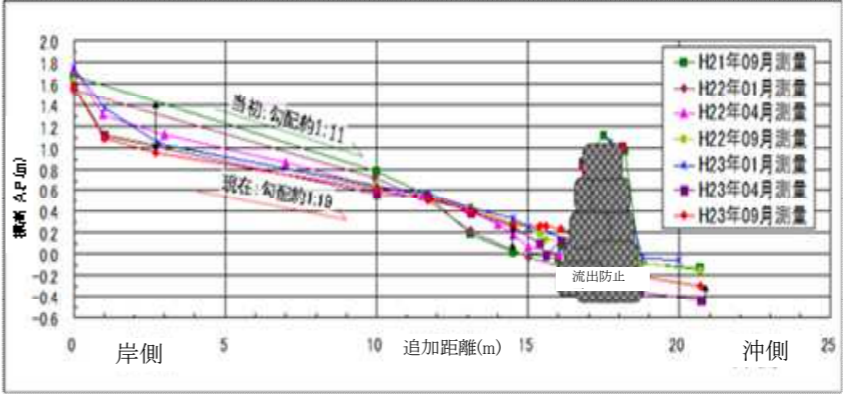


干潟的環境形成試験について

	調査目的・調査内容等	調査場所	試験区の概要
<p>干潟的環境形成試験</p>	<p>○ 目的： 三番瀬での干潟的環境の再生に資するため、マウンド型に砂を設置して、地形及び加入生物にかかるモニタリング調査を実施する。</p> <p>○ 調査期間： 平成22～23年度 〔平成22年8月25日、試験区内に山砂によるマウンドを設置〕</p> <p>○ 調査内容： モニタリング調査 ① 地形：地盤高、底質、波浪 ② 加入生物：目視観察、採泥調査</p>	<p>市川市塩浜2丁目直立護岸前面海域</p> 	<p>・ 27㎡の砂を用い、概ねA.P. -0.3mの地盤高にA.P.+0.6m、直径6m程度のマウンドを設置。 ・ 設置した砂は、相馬硅砂4号：粒径約0.6mm(0.3～0.85mm)、相馬硅砂5号：粒径約0.3mm(0.15～0.6mm)とベントナイト(シルト・粘土分)を30%混合したもの。</p> <p>(平面図) (断面図)</p> 
<p>(参考) 砂付け試験</p>	<p>○ 目的： 塩浜1丁目隅角部の静穏域に砂を投入し、生物の加入状況と投入砂の変化状況を確認し、今後の護岸バリエーションの検討に活用する。</p> <p>○ 調査期間： 平成21～23年度 (平成21年7月7日施工)</p> <p>○ 調査内容： モニタリング調査 ① 地形測量 ② 生物調査 ③ 採泥、粒度試験 ④ 形状把握(定点撮影)</p>	<p>市川市塩浜1丁目側の隅角部</p> 	<p>・ 100㎡の砂を用い、概ねA.P.+0.1m～A.P.+1.7mの範囲に設置。 ・ 設置した砂は、君津市産2mmアンダー砂。流出防止工を設置。</p> <p>(断面図)</p> 

干潟的環境形成試験の検証と評価

＜千葉県三番瀬再生計画(新事業計画)(平成23年度～25年度)＞(抜粋)

事業名:干潟的環境(干出域等)の形成等

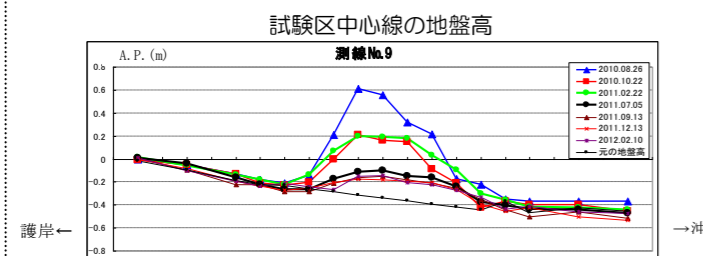
事業内容(抜粋):現在取り組んでいる干潟的環境形成試験を引き続き実施し、その結果について検証・評価の上、市川市 塩浜2丁目の護岸前面における干潟的環境の拡大等、多様な環境の回復を目指します。

平成22～23年度 調査結果の概要

地形

(1) 地盤高

試験区設置後、次第に低下した。



(2) 底質

表面は周辺の底土と混合したような状態。粗い粒径が1年後まで増加し、その後は安定する傾向を示した。

(3) 波浪と砂の移動

春季から夏季は南西風、秋季から冬季は北寄りの風が卓越しており、土量は春季から夏季の減少が大きい。

加入生物

(1) 目視観察

試験区、対照区ともにハゼ類等が確認され、試験区では生物の巣穴も認められた。

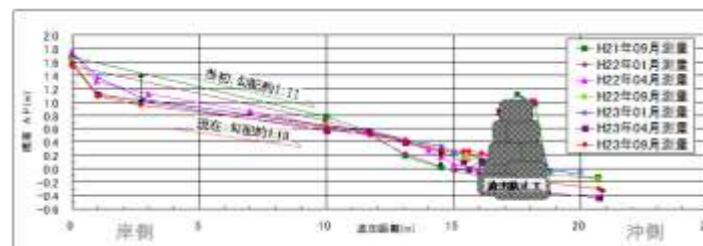
(2) 採泥調査

試験区、対照区とも、いずれも東京湾奥の一般的な生物が確認された。

参考(護岸整備事業における砂付け試験)

調査期間:平成21年度(7月7日施工)～23年度

調査内容:地形測量、生物調査、採泥・粒度試験等



検証

1. 砂の移動について

- (1) 土量の減少は、主に春季から夏季にかけての卓越した南西からの風浪によると考えられる。
- (2) 周辺に比べて大きな外力を受ける頂上付近を中心に地盤が低下した。
- (3) 試験終了時の試験区の地盤は、開始時に比べ、北側(護岸寄り)が上昇した。
- (4) シールズ数が低ければ砂堆のような形の地形が保たれる。

2. 人為的に供給した土砂への生物の加入について

人為的に土砂を供給した場所においても、湾奥で一般的にみられる生物の生息の場となった。

3. 水質浄化への寄与について

水質浄化への寄与が期待できるアサギやミズヒキなどの加入が確認できたが、底質の違いから、対照区と比べて種類ごとの出現個体数には違いがみられた。

4. 干出域に生息する種の回復について

平均潮位より高い干潟面に生息するコマツキガニ等は確認されなかったが、これは干出域が長期間形成されなかったためと考えられる。

評価

- 頂上付近の地盤高は維持されず、干出域も残らなかった。
- 護岸寄りに砂が移動する可能性が推察された。

- 順応的管理により、自然が回復する範囲内で行うことが可能と推察された。

- 生物相が回復、定着すれば、水質浄化が進むと推察された。

- 干出域が長期間形成されれば干出域に生息する種の回復が期待できると推察された。

評価基準 (再生計画の 「再生の目標」 との整合)

海と陸との
連続性の回復

人と自然との
ふれあいの確保

環境の持続性
及び回復力の確保

生物多様性の回復